



■■■ 1 ■■■  
プロジェクトの視点

少子高齢化、人口減少社会が進んでいるなか、平戸市にさらなる活力を生み出し勝ち残っていくためには、施策の中心となるべきプロジェクトに積極的にチャレンジし、基本構想に掲げるまちの未来像「夢あふれる 未来のまち 平戸」を実現しなければなりません。

このことから、「平戸市未来創造羅針盤」ではまちづくりへの責務と強い決意として、「『シン・平戸』創生プロジェクト」を掲げます。

本プロジェクトにおいては、次に掲げる3つのテーマをもとにプロジェクトを設定し、新たな変革につなげ、市民の誰もが「ずっと住みたい」と思えるまち、市外からも「住んでみたい」と思えるまちづくりに取り組んでいきます。

# 夢あふれる 未来のまち 平戸



## 伸 平戸

未来を担う人材創出  
プロジェクト

- (1) 産業人材の確保
- (2) 産業人材の育成

## 進 平戸

もうける農林水産  
プロジェクト

- (1) もうける農林業  
プロジェクト
- (2) もうける水産業  
プロジェクト

## 新 平戸

平戸観光地力  
向上プロジェクト

- (1) 世界遺産登録を契機  
とした取組み
- (2) 「平戸城」のリニュー  
アルと活用推進
- (3) 「平戸版 DMO」によ  
る魅力ある観光地づくり

## ■■■ 2 ■■■ プロジェクトの展開



# 伸 平戸

未来を担う人材創出  
プロジェクト

# 1

### 概要

平戸市の農林業、水産業をはじめとする産業人材は、人口減少の影響もあり確保することが困難な状況となっています。2016年度（平成28年度）に行った市民アンケート、および平成29年度に行ったワークショップ（ワールドカフェ）においても、農林水産業の振興と担い手の確保については市民からの多くの意見があり、平戸市の喫緊の課題となっています。

このことから、「平戸市未来創造羅針盤」の計画期間である2027年度（平成39年度）までにおいて、産業人材確保としての「大学や専門学校などの高等教育機関の誘致」と、産業人材の育成対策を強化し、地域産業に活気をもたらす取組みを進めます。

### プロジェクト実現のためにすべきこと

#### (1) 産業人材の確保

- 高等教育機関の誘致活動
- 高等教育機関の関連施設整備支援
- 高等学校の魅力アップによる学生確保対策

#### (2) 産業人材の育成

- 新規就農者育成体制の構築
- 漁業後継者の経営独立などへの支援
- 地場産業や誘致企業における人材育成の取組み支援

※ワークショップ（ワールドカフェ）…学びや、問題解決等のための会議手法のひとつ。一般的には、参加者が自発的に作業や発言を行える環境が整った場において、ファシリテーターと呼ばれる司会進行役を中心に、参加者全員が体験するものとして運営される形態。ワールドカフェはワークショップの手法のひとつ。



# 進 平戸

もうける農林水産  
プロジェクト

## 2

### 概要

農業従事者の高齢化と、日本社会における少子化に伴う人口減少が劇的に進行する中で、生産年齢人口（労働人口）を確保するには、女性・高齢者・外国人に参画を求める以外には“人がより効率的に働く”ことが重要であり、教育・訓練による労働の質向上や技術革新の導入が欠かせません。

一方、水産部門においては、漁業生産や流通・販売など広い視野と長期的視点に立った構造改革が急務であり、取り組むべきポイントは持続的な再生産体制を確立するための“資源管理型漁業の推進”と“流通販売方法の改善”にあります。

これらの項目について重点的に取り組むことにより、平戸市の基幹的産業である農林水産業の持続的な発展を目指します。

### プロジェクト実現のためにすべきこと

#### (1) もうける農林業プロジェクト

- 農業の法人化や協業化の推進
- ICT、IoTなどの情報通信技術を活用した省力化の推進

#### (2) もうける水産業プロジェクト

- （仮称）平戸市資源管理型漁業推進協議会設置による資源管理型漁業の推進
- 新規養殖対象魚種の研究開発などによる魚類養殖業の振興
- ブライン凍結など新たな技術の活用による高鮮度流通の推進
- 海外市場の開拓などによる戦略的流通販売体制の構築



# 新 平戸

平戸観光地力向上  
プロジェクト

# 3

## 概要

長崎県内でも有数の観光地として観光客を迎えてきた平戸市は、市町村合併が行われた平成 17 年（2005 年）での観光客数約 161 万人が、平成 28 年（2016 年）には約 178 万人と増加しています。しかしながら、観光消費額が大きい宿泊客数は平成 17 年に約 28 万人のところ、平成 28 年には約 21 万人と減少している状況にあります。

観光業は平戸市の重要な基幹産業の一つであり、観光業の浮揚は今後の平戸市の発展に欠かせません。「平戸の聖地と集落（春日集落と安満岳、中江ノ島）」が構成資産である、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界遺産登録とその推進、平戸のシンボルの一つであり平成 30 年（2018 年）に再築城 300 年の節目を迎える「平戸城」のリニューアルなどを契機とし、DMOの組織化により地域内での連携強化を図りながら、大きな一歩を踏み出していく必要があります。

このことから、重点プロジェクトとして「平戸観光地力向上プロジェクト」を掲げ、多くの観光客でにぎわう平戸を目指します。



## プロジェクト実現のためにすべきこと

### (1) 世界遺産登録を契機とした取組み

- 世界遺産登録による広域観光の推進
- グローバルな観光地づくり
- ユニバーサルデザインなどのおもてなしの充実

### (2) 「平戸城」のリニューアルと活用推進

- 再築城 300 年記念事業「(仮称) 幻想祭」の実施
- 天守閣および各櫓などのリニューアル
- 日本初の城の宿泊施設整備

### (3) 「平戸版DMO」による魅力ある観光地づくり

- 観光事業の一元化・情報窓口の一本化による効果的な施策の推進
- マーケティング強化による稼げるDMOの組織化
- 観光客に選ばれる観光地づくり

